

J PFP 国際人口問題議員懇談会

Japan Parliamentarians Federation for Population

NEWS LETTER

No.15 February 2014

● 国家開発枠組と人口問題の統合—アジア・アフリカ国会議員 能力強化プロジェクト Part II—ウガンダ



写真中央前列:高階恵美子議員

2月10日(月)～13日(木)に「国家開発枠組と人口問題の統合—アジア・アフリカ国会議員能力強化プロジェクト Part II」がウガンダ共和国で開催され、15か国の国会議員および国内委員会、政府要人、国際機関代表、専門家等、総勢約60名が参集しました。



写真中央中列:増子輝彦 JPFP 幹事長

同プロジェクトの Part I は昨年 1 月にカンボジア・プノンペンで開催され、各国の開発アジェンダに人口問題を優先的に取り込み、援助効果を最大にするための活動のあり方を提示しました。今回の Part II では、ミレニアム開発目標 (MDGs) の達成期限である 2015 年が迫る中、2015 年以降の国際開発目標、いわゆる「ポスト 2015 年開発目標」において、人口問題への取り組みを中心とするための行動戦略について話し合われました。

本会議は、JPFP 事務局を務める公益財団法人アジア人口・開発協会 (APDA)、ウガンダ食料保障・人口・開発議員連盟 (UPFFSP&D) 主催、日本信託基金 (JTF)、国連人口基金 (UNFPA)、国際家族計画連盟 (IPPF) および、エアテル・ウガンダの後援で開催されたものです。

緑豊かなヴィクトリア湖畔で 2 日間の会議、またカンパラおよびその近郊で 2 日間視察を行い、有意義な議論が交わされました。各セッションのテーマは下記の通りです。

セッション 1: 世界の人口動向と人口問題への取り組み

セッション 2: 人口プログラムの優良事例と課題

セッション 3: 人口問題に関する政策と立法

セッション 4: IT のインパクト: 説明責任・透明性とグッドガバナンス

セッション 5: 視察結果の検証: 人口問題と 2015 年以降開発アジェンダの統合

続くセッション 6 では、宣言文採択に向けたディスカッションが活発に交わされ、会議の協議成果として、今後のアジアにおける国会議員の取り組みを明確にした宣言文が全員一致で採択されました(下記全文)。

国家開発枠組と人口問題の統合
アジア・アフリカ国会議員能力強化プロジェクト-Part II
—宣言文—

2014年2月13日

ウガンダ国

私たちアジア・アフリカ・ヨーロッパ15カ国の代表議員は、ウガンダに参集し、2014年ICPD20周年の目標年とその後に向け、本APDA - UPFFSP&Dプロジェクトを通じ、人口問題の解決に向け各国の開発アジェンダに人口問題を優先的に取り込み、援助効果を最大にするための努力を強化することを宣言する。

1. 以下のことを再確認する:

- ① 人口プログラムは各国開発の基盤であり、人口の安定化なくして持続可能な開発の実現はない。
- ② 人口プログラムは人権を尊重する環境形成を促進し、人々に責任ある将来への選択を可能にするものである。
- ③ 性およびリプロダクティブ・ヘルスを含む人口プログラムは、よく情報を得た上での選択に基づいて行われており、一人ひとりの福利、特に貧困の中で生活している人々の福利の改善を目的としているものである。
- ④ 人口プログラムの実施によって女性の地位や権能が向上し、その結果社会・経済発展の増進、貧困の削減につながる。
- ⑤ 人口プログラムは、持続可能な開発に向けた最も費用対効果の高い介入である。

2. これらの事実に基づき、以下の政策提言を行う:

- ① 2015年に採択される、2015年以降の開発アジェンダにおいて、人口問題への取り組みが中心的な位置を占めるよう、自国政府に働きかける。
- ② 私たち国会議員は、各国国会において、性およびリプロダクティブ・ヘルスを推進し、持続可能な開発を達成するための法と政策および人口プログラムを検討し、策定し、広く周知するようロビー活動を行う。
- ③ 私たちは、すべての人がリプロダクティブ・ヘルスサービスを利用できるようになるという目標を達成するために、全体的な健康の増進を図るUHCの枠組みの強化を通じ、努力する。
- ④ 私たちは自国政府に対し、国家開発政策および国際支援プログラムの基本原則として、人口と持続可能な開発のためのプログラムとUHCを統合するよう要請する。
- ⑤ 私たちは、援助機関を含む各国機関、国際機関に対し、政策およびプログラムを形成し、同僚国会議員に対して説得を行い、そして選挙区におけるこれらの活動に対する支援を獲得するために利用できる、説得力のある、証拠に基づいた、簡明なデータを提供するよう求める。
- ⑥ 良い統治、透明性、説明責任を果たすためにICT分野との効果的な協力を呼びかける。
- ⑦ 人口と食糧安全保障のバランスを築くためにUHCを通じ適切な性およびリプロダクティブ・ヘルスへの対処を促進するとともに食糧安全保障の耐久性を強化するためにネリカ(New Rice for Africa)米のような適切な対処を促進する。
- ⑧ 私たちは、各国、地域、そして国際的な調整と協力を推進し、優良事例の共有に努める。

この目的のために、人口と開発に関する地域議連間の連携を強化し、ストックホルムで開かれる IPCI の準備過程に参加することが特に重要である。

3. 結語:

- ① APDA・UPFFSP&D の事業の成功を祝し、両者に感謝するとともに、この人口分野において重要な役割を果たす事業を支援したウガンダ国会および日本政府、UNFPA、IPPFをはじめとする援助機関に感謝を表明する。
- ② 民意に基づき、草の根のニーズをくみ上げて人口問題を解決に向ける上で、国会議員の役割と活動、そして彼らが効果的に活動できるための基盤は必要不可欠である。2014年のICPD目標年の後も、人口と開発に関する国会議員活動に私たちはコミットする。
- ③ APDAがこれまで30年以上にわたってアジアとアフリカにおける国会議員活動強化において果たしてきた成果を再確認し、その活動を継続し、より拡大するためにも、国際機関をはじめとする援助機関に支援の拡大・継続を嘆願する。



国際人口問題議員懇談会(JFPF)事務局
(公財) アジア人口・開発協会(APDA)

TEL: 03-5405-8846

FAX: 03-5405-8845

E-mail: apda@apda.jp

Website: <http://www.apda.jp>

入会をご希望の方は、apda@apda.jpまでご連絡くださいますようお願い申し上げます。

尚、本ニュースレターの配信停止をご希望の方は apda@apda.jp までお願いいたします。